

災害時帰宅困難者体験訓練

災害時帰宅困難者体験訓練実行委員会

 コース
初動事業

申込内容

■事業の概要

「豊中市を縦断する上町断層帯佛念寺山断層を震源とする大地震発生。千里ニュータウンの住民、千里ニュータウンへ通勤・通学している人は徒歩で帰宅せざるをえなくなった」ことを想定し、帰宅困難訓練を行います。

■目的

街頭での宣伝活動を行う事によって、日ごろは地域事情に関心のない人たちに対する防災意識の向上を図ります。また、通学・勤務先から自宅という生活圏内において訓練を実施することで、地域活動への参加しやすさをきっかけにして日ごろから自治会や防災意識の活動へ関心を向けてもらいます。

■交付決定額 100,000 円
 (事業予算 300,000 円)



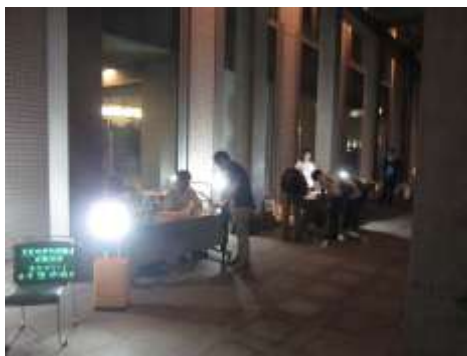
◎活動の様子

災害時帰宅困難者体験訓練実行委員会では、「歩いて家に帰れますか？」をスローガンに帰宅困難時の対応を体験することで心身ともに非常事態に備えることを目的に本訓練が実施されています。

今回は平成 27 年(2015 年)9 月 4 日(金)に新御堂筋沿線(新大阪駅～千里中央駅)で午後 6 時から 9 時の間実施されました。参加者は沿線住民、沿線に通勤通学する方が対象で、当日のお出かけや仕事などの都合に合わせ、スタート・ゴール地点を沿線の最寄りの駅(新大阪駅、江坂駅、緑地公園駅、桃山台駅、千里中央駅)の受付ポイント会場から自由に設定することが出来るものです。



当日の天候は曇り(北部では瞬間的な豪雨に見舞われる)、蒸し暑い中、各ポイント会場で受付後に配布された地図をもとにスタート。日頃と同じ通勤・通学や遊び、買物に出かけた時の服装、靴で参加されていました。



新大阪駅の受付ポイントでは、一人で参加する方、グループや親子等で参加される方など様々。淀川区長の合図によりスタート。新御堂筋沿線に沿って側道、歩道を歩き、陸橋や神崎川の橋を渡ったり、坂道を上ったり下がったり、普段歩かない場所を、汗を拭きながらゴールに向かう。この間も各ポイントでは、参加者のスタート・ゴールの受付が行われており、逆ポイントで受付された方とすれ違ったりした。

千里中央駅の最終ポイントでは豊中市長、総田憲治会長が見守る中ゴールする。距離約 8 km、所要時間約 2 時間(通常は 2～3 時間)で完歩。参加者は昨年比で大幅に増加し 600 人を超えたようです。

この訓練から、災害が発生し電車が止まった時など、常日頃から徒歩で帰宅せざるをえなくなった場合を想定して帰宅安全ルート、所要時間を確かめておくことや、悪天候等に応じた用具の準備をしておくことの大切さを教えられました。